



保育教諭、 母校に帰る。

田園調布学園大学編

「大地にしっかり根をはり、
大空に向かってたくましく伸びる、
つくしんぼうのように育ってほしい」
という願いが込められた、つくしの幼稚園。
『保育教諭、母校に帰る』の主役は、
そんなつくしの幼稚園でのびのびと働く
大谷さんと恩師である清水先生だ。
二人の思い出を振り返る。

— 田園調布学園大学の清水准教授と、
卒業生の大谷さんです。本日はよろしく
お願いします。

【清水先生】 よろしくお願ひ致します。

【大谷さん】 よろしくお願ひ致します！

— 久々の再会ということですが、清水
先生、学生時代のみなさんはどんな学生
でしたか？

【清水先生】 大谷さんに初めて会った時
から、周りに気を遣って気配りのできる
学生さんでした。親しくなるにつれて、
自分の中にちゃんと芯も持っていて、実
は運動が好きなどとても活発な学生さん
だったのを知ったのよね。ゼミ生
みんなでBBQに行った時のこと覚え
ていますか？いつもは物静かな大谷さん
が、とにかくいっぱい食べていて。普段
のゼミではあんなに静かな大谷さんが、

その時は、中心となって場を仕切って
くれて。みんなのために、とにかく肉を焼
いては、渡してくれていたわよね。

【大谷さん】 BBQ覚えています！ほか
に率先してやる人がいなかったら、時間
もないし、始めてしまおうかと、どんど
ん進めていってしまいました。確かにあ
の日は、たくさん焼いてたくさん食べま
した。昔からスポーツは好きで、ずっと
バレーボールと空手をやっていたので、
楽しいことをするのが好きな活発な学生
だったと思います。

— 大谷さんから見て、清水先生はどん
な先生でしたか？

【大谷さん】 すごく優しい先生でした。
特に実習や就職活動のタイミングでは、
本当に親身になって相談に乗ってくださ
いました。

【清水先生】 責任実習の内容についての
相談が多かったわね。「導人はこれでい
いと思いますか？」とかね。そのたびに
「その内容で大丈夫よ。あとは年齢に合
わせて、とか手順はこうして…」みたい
な話をしたんじゃないかしら。

【大谷さん】 就職活動の時も、実際に園
の情報はどう集めていくの？状態で、そ
の時に「園見学は行った方がいい。自分
の目で見て、ちゃんと自分に合うかどう
かを確かめた方がいいわよ」とアドバイ
スをいただきました。

— 実際、大谷さんの就職活動はどう
だったのですか？

【大谷さん】 当初、武道に力を入れてい
る幼稚園に興味があり、実際に見学に
行ってみました。私も空手をやっていた
し、子どもたちにも伝えられることがあ

田園調布学園大学
子ども未来学部
子ども未来学科 准教授
清水 道代
Michiko Mizuno

青山学院大学大学院博士後期
課程(単位取得満期退学)主な
論文「東京府女子師範学校附
属学校園における遊戯的学習
の実践と幼小接続に関する一考
察—第一部(幼稚園・尋常小学
校一年)の実践的展開に着目し
て—」単著 保育学研究,第56
巻,第2号,2018.(日本保育学
会研究奨励賞受賞)他。

田園調布学園大学 卒業
2019年4月 入職
大谷 華恵
Kaori Hono

昔から運動好きだった大谷さ
ん。バレーボールと空手を入
れた学生時代。体育館での部活
が印象に残っているという。現在
はつくしの幼稚園で、子どもたち
と毎日駆け回っている。





実際に現場で活躍している大谷さんの話を嬉しそうに聞く清水先生。当時から、やさしくて気配り上手な大谷さんと大谷さんのために何度も相談にのっていた二人の仲の良さが伺える場面。



学校法人川崎学園
(取材園:認定こども園 つくしの幼稚園)

<お問合せ>
神奈川県相模原市南区
新機野3丁目22-16
☎046-254-3614
設立:1978年4月



求人情報はこちら

オンライン園見学 オンライン説明会 オンライン相談会

田園調布学園大学
田園調布学園大学

<お問合せ>
神奈川県川崎市麻生区東百合丘3-4-1
☎044-966-9211(代表)
設立:2002年4月

地域に根差した学びから、変化する地域社会を支える大学へ。ワンキャンパスで繋がる知識と交友。地域密着型の実習教育。共に学ぶ仲間、教職員との連携を礎とし、多様な社会・人々との共生を通じて地域社会の未来を担う「福祉」「教育」「心理」の卓越した実践家を養成。



HPIはこちら



思い出のゼミ

実習や就活のことは清水先生に相談していた大谷さん。さまざまなアドバイスがもらえ納得のいく就活ができたそう。



バレーボール

「バレーボールを通してできた大切な仲間や思い出たちは財産です」ボールを持つとあの時の記憶も蘇ってくるそうだ。



大好きな武道

学生時代を思い出しながら空手の型を披露してくれた。「武道をしていると気持ちも引き締まりますね」



図書館

絵本がたくさん置いてあって、実習で読む本を探したり、保育の内容などを調べに何度も訪れたりした図書館。



楽しかった授業

清水先生の授業はとて為になり、授業に行くのが毎回楽しみでした!また受けたいですね。

るかもしれないと思ったのですが、見学行った日の3日後に採用試験があると言われてしまった…。ピアノの試験もあると書いてあったのですが、実は私はピアノが少し苦手。あと3日で私のピアノは仕上がるのか…と焦ってしまい、結局その園の採用試験を受けることはありませんでした。

【清水先生】 そうだったわね。幼稚園・保育園の就活って一般の就職活動に比べても、すごく短期決戦だものね。急激に動き始めて、よく見比べることなく就職先を決めてしまうと、あとでミスマッチになることも多いから…。冷静になって就職活動をするのは大切だというのは学生に伝えてるのよね。あの時は、少し大谷さんが焦っているように見えたから「この時期だったらまた募集の可能性もあるかもしれないし、落ち着いて、ひと

呼吸おいてみたら?」という話をしたよ。うな気になります。

【大谷さん】 「また採用試験あるかもしれないし、別で気になる園が見つかるかもしれないわよ。少し待ってみればいいんじゃない?」と言っていただけで、「自分が目指す教育」をもう一度考えなおして、『体操や体育に力を入れている園で働きたい』という結論になりました。そんなタイミングで相模原市の幼稚園協会のイベントがあつて、そこでつくしの幼稚園と出会いました。

【清水先生】 つくしの幼稚園さんに就職を決めた理由ってなんだったのかしら? 【大谷さん】 イベントで話を聞かせていただき、体操や園外保育に力を入れているといった教育内容を覚えていて、興味を持ちました。そのあと、園見学の案内をいただきました。何月何日に園見学が

【大谷さん】 子どもの連絡ノートは2週間で全頁分を書けばいいので、あまり苦にはなりません。もう慣れてきて、文章力も上がったと思います。

【清水先生】 一人ひとりを見るといつも大変そうよね。いざ記録を書こうとしたら「今日あの子と話をしていない」とか、「この子は今日、何をしていたのだろう?」とか、手が止まってしまうこともあったのかしら?

【大谷さん】 そうですね。1年目は子どもを見ているつもりになってしまっていた、ことも多かったです。27人クラスで、子どもたち全員に声を掛けたかと言われると、できていなかったと反省した日もありました。その日を振り返ってみると、挨拶だけで終わってしまったかもしれない。だからこそ、翌日は昨日あまり話せなかった子どもたちと、たくさん話を

う!と気を付けていました。3年目になり、いろんな子に「今日何したの?」と話しかけて、まんべんなく子どもと関われるようになった気がします。

【清水先生】 1年目の自分自身を振り返ってみて、成長できたと思う部分はありますか?

【大谷さん】 1年目の時は、帰りの会とか制作とか、自分の思いの部分ばかりを伝えて終わってしまったいました。今は少し余裕もできたので、子どもたちと会話しつつ、相手の様子を見られるようになってきたのかなと思います。

【清水先生】 先輩や同僚とはどう? 【大谷さん】 先輩もすごく優しいのですが、仕事の時は、気が付いたことを言ってくれますし、そのあとフォローもあつて、良い先輩たちに巡り合えたなと思います。あと同期も2人いるのですが、い

ありますと候補日程があつて。そこで、思い切って行ってみることにしました。ちよどスポーツフェスティバル(運動会)の練習をしているシーズンで、園児がダンス練習をしていたんですね。私も体を動かすのは好きなので、楽しそうだったと思つたし、先生たちが、本当にイキイキと働いていました。行事の練習なので、もちろん忙しそうではあるのですが、とにかくずっと笑顔で仕事をしていて、見学者の私を見かけると、忙しいはずなのに立ち止まってしっかりと挨拶してくれられたらいいな」と思いました。

【清水先生】 つくしの幼稚園に憧れの先生たちがいたわけね。一人担任でやっているの? 【大谷さん】 そうです。でもサポートしてくださるフリーの先生もたくさんいる。いろいろ相談に乗ったり、乗ってもらったりして、頼りになります。良い同期にも恵まれました。保育について話し合うこともあります。

【清水先生】 子どもたちのことを話し合える関係っていいですね。何か気になるなと思つた時、その子の今の状況を見てあげると、そうせざるを得ない状況があつたり、変化があつたりするものね。きっと子どもは子どもで頑張っているし、頑張る力もあるだろうしね。――ありがとうございます。最後に大谷さんから、清水先生に伝えたい、つくしの幼稚園の良さはありますか? 【大谷さん】 つくしの幼稚園の先生たちは本当にパワフルで、子どもと保護者と三位一体で頑張っているの、子どものことを全力で考えながら、運動も音楽も楽しめるような学生さんたちがいたら、

ので、すごく心強いです。苦手だったピアノも、上手な先生たちに助けてもらいながら、練習を頑張っています。 【清水先生】 担任を持って、何か思い出深いエピソードはありますか? 【大谷さん】 先日、スポーツフェスティバルの練習で、クラス対抗リレーをしたのですが、毎回、ほかのクラスに勝てず最下位になってしまっていました。でも子どもたちは、それが悔しかったみたく、どうやったら勝てるのか、クラスの中で話し合っていました。下を向いてばかりじゃなくて、前を向いてチームワークを作っていく様子も見られ、頼もしさを感じました。結果的に本番では、2位になったんですよ。

【清水先生】 すごい経験ですね。日々の中で、記録を書いたり指導案を作ったりなどは大変ではないですか? 【大谷さん】 ありがとうございます。では清水先生から大谷さんに一言お願いします。 【清水先生】 今日話を聞いていて、大谷さんは学生時代から変わらず、今も目いっぱい頑張っているのが分かりました。優しく心配りが利いて、いろんな人に気持ちを向けられるのが、大谷さんだと思つたので、自分を大切に教育にまい進して欲しいです。教育や保育は、何をやるでも自分の肥やしになり、人間の成長につながる素敵な仕事だと思います。子どもの今を見つめて、信頼や希望を培うような教育をして欲しいです。体に気を付けて頑張ってくださいね。

【大谷さん】 清水先生と話せて嬉しかったです。ありがとうございます。―― 本日はありがとうございます!